

KEW5010/5020と接続して使用する場合
本製品をロガーKEW5010/5020に接続して使用する場合、KEW5010/5020の製造時期によっては、このクランプセンサが使用できない場合があります。
「6-3 ロガーとの接続 (KEW5010/5020)」に使用可能な製品のシリアル番号を記載していますのでご確認ください。

1. 使用上の注意 (安全に関する注意)

本製品はIEC 61010-1電子測定装置に関する安全規格に準拠して、設計・製造の上、検査合格した最良の状態で出荷されています。この取扱説明書には、使用される方の危険を防ぐための事項及び、本製品を損傷させずに長期間良好な状態で使用していただくための事柄が書かれていますので、お使いになる前に必ずお読みください。

△ 危険

- 本製品を使用する前に、必ずこの取扱説明書をよく読んで理解してください。
- この取扱説明書は、お手元に大切に保管し、必要な時にいつでも取り出せるようにしてください。
- 製品本来の使用方法及び取扱説明書で指定した使用方法を守ってください。
- 本書の安全に関する指示に対しては、指示内容を理解の上、必ず守ってください。

以上の指示を必ず厳守してください。指示に従わないと、怪我や事故のおそれがあります。危険及び警告、注意事項に反した使用により生じた事故や損傷については、弊社としては責任と保証を負いかねます。

本製品に表示の△マークは、安全に使用するため取扱説明書を読む必要性を表しています。なお、この△マークには次の3種類がありますので、それぞれの内容に注意してお読みください。

- △ 危険：この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険性が高い内容を示しています。
- △ 警告：この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。
- △ 注意：この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

△ 危険

- 本製品は、測定カテゴリIV (CATIV) の環境下において300V以上、測定カテゴリIII (CATIII) 以下の環境下において600V以上電位のある回路では、絶対に使用しないでください。

△ 警告

- 本製品を使用しているうちに、回路ボックスおよびクランプセンサ部に亀裂が生じたり金属部分が露出したときは、ただちに使用を中止してください。
- 本製品の分解、改造、代用部品の取付けは行わないでください。
修理・調整が必要な場合は、弊社または販売店宛にお送りください。
- 本製品や手が濡れている状態では、絶対に使用しないでください。感電事故の原因になります。
- 本製品を操作するときは、労働安全衛生規制に定められているように電気用ゴム手袋等の絶縁用保護具を着用してください。

フレキシブルクランプセンサ

パワークランプセンサ シリーズ

KEW 8130

共立電気計器株式会社

6. 測定

△ 危険

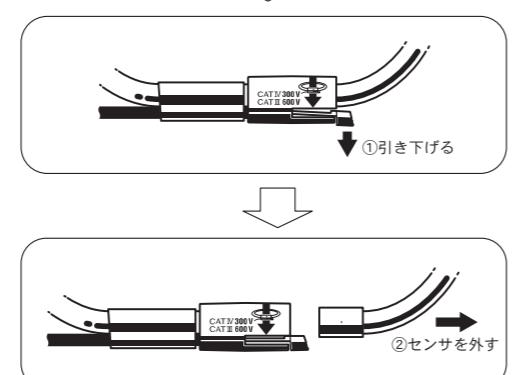
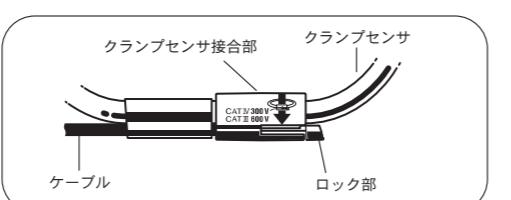
- 感電の危険を避けるためCATIVにおいて300V以上、CATIII以下において600V以上電位のある回路では、絶対に使用しないでください。

△ 注意

- 被測定可能導体径は最大Φ110mmです。大きい導体をクランプし、クランプセンサが完全に閉じていない状態では正確な測定ができません。
- 出力端子を測定器本体から抜く場合、断線防止のため差込部分(ケーブル以外)を持って抜いてください。

6-1 測定方法

- (1) 出力端子を測定器本体の入力端子に接続してください。
- (2) 測定器本体の電源を入れてください。
- (3) クランプセンサの接合部を下図のようにはずしてください。



- ▲ 注意
 - ケーブルの被覆を損傷させないよう、踏んだり挟んだりしないでください。
 - 高温多湿、結露するような場所および直射日光の当たる場所で本製品を保存や使用はしないでください。変形、絶縁劣化を起こし、仕様を満足しなくなります。
 - 本製品の運搬、取り扱いに際しては、振動や落下等の衝撃を避け、本製品が損傷しないよう注意してください。
 - クリーニングには、研磨剤や有機溶剤を使用しないで中性洗剤か水に浸した布を使用してください。
 - 本製品は防じん、防水構造になっていません。ほこりの多い環境や水のかかる環境下で使用しないでください。故障の原因になります。
 - 本製品の接合部に異物を挟んだり、衝撃を加えないでください。接合部の突合せ面が損傷し、測定に悪影響を及ぼします。
 - 断線による故障を防ぐために、ケーブルの付け根を折ったり引っ張ったりしないでください。
 - 測定範囲を超える電流を長時間入力しないでください。本製品を破損する恐れがあります。
 - 接続機器の電源が入った状態または測定導体をクランプした状態で、コネクタの抜き差しをしないでください。接続機器およびクランプセンサの故障の原因になります。
 - トランジストや大電流路など強磁界の発生している近く、また無線機など強磁界の発生している近くでは、正確な測定ができない場合があります。

安全記号

△	人体および機器を保護するため、取扱説明書を参照する必要がある場合に付いています。
□	二重絶縁または強化絶縁で保護されている機器を示します。
(X)	感電、電気的火災又はアーカー閃光を防ぐための絶縁されていない危険な活電導体の周りに装着しない、又はそれから脱着しない。
～	交流 (AC) を示します。
×	本製品は、WEEE指令 (2002/96/EC) マーキング要求に準拠します。この電気電子製品を一般家庭廃棄物として廃棄してはならないことを示します。

△ 危険

△ 警告

△ 注意

○ 测定カテゴリについて

安全規格IEC61010では測定器の使用場所についての安全レベルを測定

カテゴリという言葉で規定し、以下のようにO～CAT IVの分類をしてい

ます。この数値が大きいほど過渡的なインパルスが大きい電気環境であ

ることを意味します。CAT IIIで設計された測定器はCAT IIで設計され

たものより高いインパルスに耐えることができます。

O : 測定カテゴリのない測定回路

CAT II : コンセントに接続する電源コード付機器の電気回路

CAT III : 直接配電盤から電気を取り込む機器の1次側及び分岐部からコ

ンセントまでの電路

CAT IV : 引込み線から電力量計及び1次過電流保護装置(配電盤)まで

の電路

CAT V : 測定器側の測定回路

0 : 測定カテゴリのない測定回路

コンセント

引込み線

CAT IV

CAT III

CAT II

屋内配線

CAT I

0 : 測定カテゴリのない測定回路

コンセント

引込み線

CAT IV

CAT III

CAT II

屋内配線

CAT I

0 : 測定カテゴリのない測定回路

コンセント

引込み線

CAT IV

CAT III

CAT II

屋内配線

CAT I

0 : 測定カテゴリのない測定回路

コンセント

引込み線

CAT IV

CAT III

CAT II

屋内配線

CAT I

0 : 測定カテゴリのない測定回路

コンセント

引込み線

CAT IV

CAT III

CAT II

屋内配線

CAT I

0 : 測定カテゴリのない測定回路

コンセント

引込み線

CAT IV

CAT III

CAT II

屋内配線

CAT I

0 : 測定カテゴリのない測定回路

コンセント

引込み線

CAT IV

CAT III

CAT II

屋内配線

CAT I

0 : 測定カテゴリのない測定回路

コンセント

引込み線

CAT IV

CAT III

CAT II

屋内配線

CAT I

0 : 測定カテゴリのない測定回路

コンセント

引込み線

CAT IV

CAT III

CAT II

屋内配線

CAT I

0 : 測定カテゴリのない測定回路

コンセント

引込み線

CAT IV

CAT III

CAT II

屋内配線

CAT I

0 : 測定カテゴリのない測定回路

コンセント

引込み線

CAT IV

CAT III

CAT II

屋内配線

CAT I

0 : 測定カテゴリのない測定回路

コンセント

引込み線

CAT IV

CAT III

CAT II

<p